

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成28年5月9日（月）～平成28年5月15日（日）〔平成28第19週〕の感染症発生状況

第19週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 流行性角結膜炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.08人と前週（3.95人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.51人と前週（2.30人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.33人と前週（1.67人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



## これから注意したい感染症～咽頭結膜熱～

現在、全国的に咽頭結膜熱の患者報告数が増加しています。川崎市においても第16週以降徐々に報告数が増えてきました。例年、6月頃から流行が始まり7～8月にピークとなるので、今後はさらに患者数の増加が予想されます。

### 咽頭結膜熱ってどんな病気？

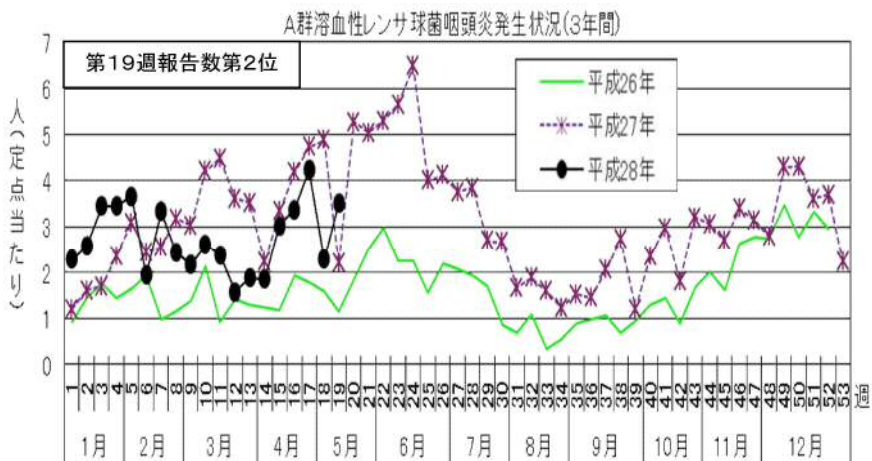
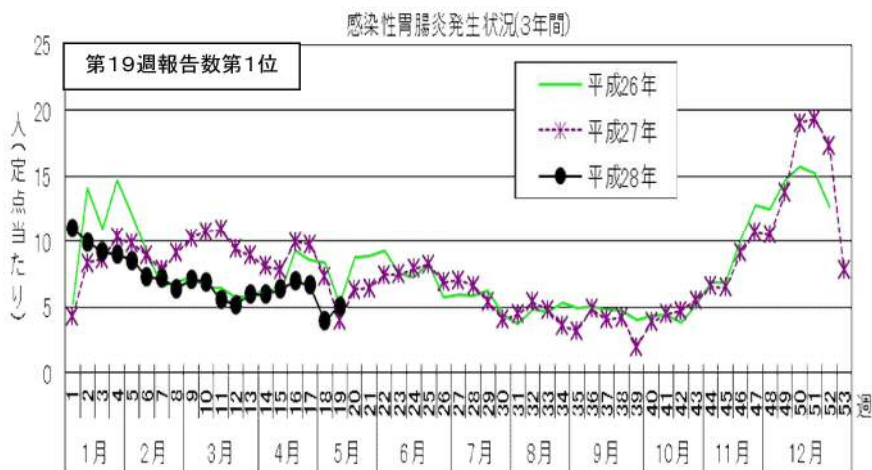
- 原因：アデノウイルス
- 主な症状等：発熱・咽頭炎・結膜炎
- 潜伏期間：5～7日
- 小児（特に5歳以下）に多い
- 感染経路：患者の咳やくしゃみ等に含まれるウイルスが、直接あるいはタオルやプールの水等を介して口や目の粘膜等から侵入する接触・飛沫感染

### 予防方法

- ✓ タオル類やおもちゃの共用は避ける
- ✓ 流水や石鹸による手洗いを徹底する
- ✓ プール利用前後にシャワーを浴びる



塩素消毒をしていないビニールプールを利用する際にはこまめに水を替える等配慮をお願いします！



川崎市における咽頭結膜熱発生状況

